

第3章 着手効率

第1節 着手効率とは

法則 着手効率は、相手の構想を制約することによって、自分の構想の自由性を保持することから生まれる。

1 着手効率とは

着手効率とは、「相手より、相対的に大きな地になる」比率をいいます。ここでは、「相対的」であり「全局的」という2つの考え方が優先しています。

勝敗の決定要因から着手効率を考えると、「構想から得られる利益より、相手の着手ミスを咎めることで得られる利益が大きい」ため、棋力アップには、自分の着手ミスを減らすことが、実質的で効果的な上達手段になります。